



大淀中だより

学校教育目標 「自主・自律の態度と共生の心を育成する」

京都市立大淀中学校

学校だより⑩

令和6年(2024) 1月30日

校長 川上 貴由

(第2回) 学校教育力向上に向けたアンケート結果

12月に行われました三者懇談の際に実施した「学校教育力向上に向けたアンケート」の保護者回答(回答数194)の結果をお知らせいたします。前期より回答数が60人程度少なくなりました。学校教育力を向上させるためには回答数が多いほど今後に活かすことができますので、来年度以降も御協力を賜りますようお願い致します。この結果につきましては、学校運営協議会・教職員と共有し、今後の学校改善につなげて参ります。 *生徒の結果については次号で掲載させていただきます。

*数値は「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した人数をあわせた割合になっています。

令和5年度「前期」と令和5年度「後期」との比較

*令和5年度前期より上がった(↑)

*令和5年度前期より下がった(↓)

設 問	前期	後期
①子どもは安心して楽しく学校に通っている	79%	93% ↑
②学校の雰囲気がよく、生徒がいきいきと活動している	90%	93% ↑
③学校の様子、学級・学年・学校だよりやホームページなどでよく分かる	85%	94% ↑
④学校は、生徒の人間性や人権を尊重した接し方ができている	95%	96% ↑
⑤学校は生徒指導上の問題を見逃さず対応できている	90%	92% ↑
⑥学校は、保護者からの連絡や相談に迅速且つ適切に対応している。	95%	97% ↑
⑦学校行事の時期は適切である	94%	96% ↑
⑧学校では、楽しく、わかりやすい授業が行われている	87%	90% ↑
⑨家庭では学校の話など、子どもとコミュニケーションが図れている	84%	87% ↑
⑩子どものよいところをほめるなどして、自信を持たせるようにしている	73%	87% ↑
⑪家庭では社会のルール、規範意識の高揚に努めている	91%	93% ↑
⑫子どもは家庭では早寝・早起きに心がけている	53%	60% ↑
⑬子どもと将来の夢や生き方について、できるだけ会話している	77%	87% ↑
⑭子どもは、朝ご飯を毎日きちんと食べている	82%	89% ↑

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で

「**京**都は**く**み**憲**章」を実践しましょう!



設 問	前期	後期
⑮ケータイ・スマホ・メールなどの使用ルールを決めている	55%	62% ↑
⑯子どもは朝夕の検温など健康観察をしっかりと行っている	61%	53% ↓
⑰子どもには基礎的・基本的な知識や技能、学力がついてきていると思う	64%	75% ↑
⑱子どものことについて、先生と気軽に相談できる	94%	96% ↑
⑲子どもの家庭学習習慣は定着し、自学自習ができている	53%	55% ↑
⑳子どもはハンカチを携行している	52%	55% ↑

学校生活について

学校生活に関連する項目で、「学校は、生徒の人間性や人権を尊重した接し方ができている」や「学校は、保護者からの連絡や相談に迅速且つ適切に対応している」「子どものことについて、先生と気軽に相談できる」において、肯定的意見が高くなっています。学校と保護者の皆さんが連携し、子どもを真ん中においた教育活動が今後も推進されるように精進して参ります。今後も、子どもたちが伸び伸びと自分の力を発揮できるように、また、学校が安心して学習活動に取り組める場であるように、生徒一人ひとりのことをしっかり見ていきながら今後の教育活動に取り組んでいきたいと思います。

学習面について

学習については、「学校では、楽しく、わかりやすい授業が行われている」が高い数値を維持していますが、「子どもには基礎的・基本的な知識や技能、学力がついてきて

いると思う」「子どもの家庭学習習慣は定着し、自学自習ができています」では、数値が上昇したものの課題が残っています。今年度、本校では学力向上を重点課題として、日々、先生方同士で授業力向上に努めていますが、来年度は、学力向上に向けて「協同学習」という取組をすすめていきます。これは「クラスのメンバー全員のさらなる成長を追求することが大事なのだと、全員が心から思って学習する」授業スタイルです。

■■家庭生活について■■

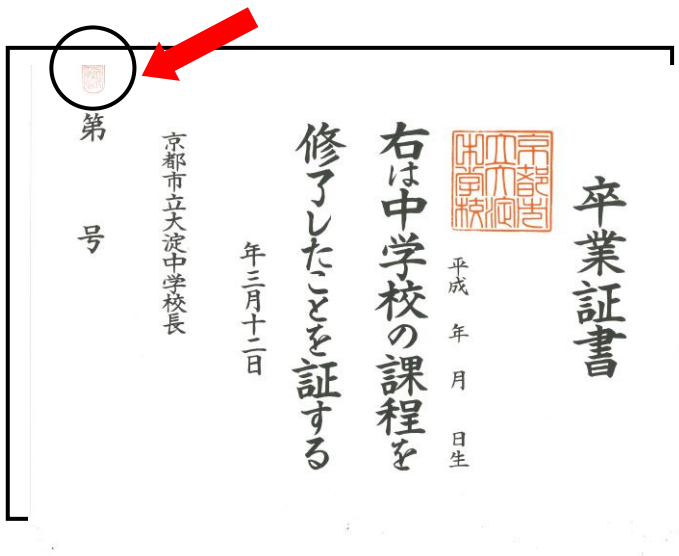
家庭の状況をお聞きする項目では、ほとんどの項目で数値が上昇しています。「子どもは朝夕の検温など健康観察を行っている」では減少しています。インフルエンザの感染者数は増加傾向にあります。これから、3年生は受験シーズン、1・2年生は学年末テストも控えており、学校生活では引き続き感染予防対策に取り組んで参りますので、ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。また、現在、定期的にPTA主催の「家庭教育講座」を行っています。子どもの無意識に焦点を当てながら、よりよい子育てについてワークショップ形式で行っています。また、不登校のお子様をお持ちの方々が集まり、お互いの困りを話し合う会も行っています。興味をお持ちの方がおられましたら、遠慮なく教頭まで問い合わせ下さい。

卒業証書における「割り印」の取扱について

卒業証書の割り印（証書の上の印／右上図の矢印の○の印）について、京都市教育委員会の方針に基づき、昨年度から省略しています。

割り印は、卒業証書と卒業証書台帳（卒業生の一覧が記録される帳簿）の関連を証明するため、2つの紙面にまたがらせて押す印鑑です。

押印に法令等の定めはなく、卒業証書と卒業証書台帳の関連も番号や氏名等で関連を証明できるため、押印作業の手間や、今後の台帳の電子化等も見据え、昨年度より、全市統一で割り印を省略することとなったものです。



2月5日は「京都はぐくみ憲章の日」

大人は、子どもの可能性を信じ、自ら育つ力を大切に、子どもを見守り、褒め、時には叱り、共に成長していくことが求められます。そして、子どもを取り巻く状況を常に見つめ、命と健やかな育ちを脅かすものに対して、毅然とした態度で臨む必要があります。

子どもたちの今と未来のため、家庭、地域、学校、企業、行政など社会のあらゆる場で、人と人の絆を結び、共に生きるうえでの行動規範として2007年2月5日に「京都はぐくみ憲章」が定められました。

本校でも、引き続き保護者や地域の皆さんと連携し、子どもを真ん中に置いた教育活動を推進していきます。

京都はぐくみ憲章

～子どもを共に育む京都市民憲章～



わたしたちは、

- 一 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 一 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 一 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 一 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 一 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 一 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

平成19年2月5日（青丸二〇二〇英訳の日）制定
3月13日 京都市会が憲章制定を決議

京都市中学校生徒書き初め展

1月13・15日に京都市総合教育センターにて、第92回京都市中学校生徒書き初め展が行われ、本校の6名の生徒作品が展示されました。

【選出された生徒】

- 1年3組 K.Kさん
- 1年4組 F.Aさん
- 2年2組 T.Mさん
- 2年2組 Y.Hさん
- 3年4組 E.Yさん
- 3年5組 Y.Aさん



★★★大淀カフェ開催★★★



26日（金）に大淀カフェを行いました。1組の生徒が、昨年より1種類増やした3種類のカップケーキを調理し、コーヒー・紅茶・オレンジジュースとともに提供して接客対応を学ぶというものです。当日は、多くのお客様が来られ、心温まるひとときとなりました。とてもおいしかったです。